

## 第2回富士見市次世代育成支援後期行動計画策定委員会会議録

日時：平成21年7月7日(火)  
 (午後1時30分～3時30分)  
 場所：富士見市立市民総合体育館 3階  
 大会議室

出欠状況						
加治委員長	藤森副委員長	石川委員	大居委員	増渕委員	尾崎委員	吉田委員
出席	出席	出席	出席	出席	出席	出席
近藤委員	竹内委員	湊委員	大津委員	高野委員	鈴木委員	小倉委員
出席	出席	出席	欠席	出席	出席	出席
市園委員	黒岩委員	和田委員	牧田委員	原委員	河野委員	
出席	出席	出席	出席	出席	出席	
事務局	阿由葉副部長、島田課長、渋谷副課長、水口副課長、銘苺副課長、梶田児童館館長					

内 容
<p>1 開 会 事務局により、開会が宣言された。</p> <p>2 委員長あいさつ 加治委員長により、あいさつが行われた。</p> <p>3 出欠の確認 事務局により、大津委員の欠席と、傍聴者がいないことが確認された。また、名簿の修正について説明が行われた。</p> <p>議 事                      (1) 現状と課題の整理について                      事務局により、配布資料の確認が行われ、資料に基づき説明(下記の①～③)が行われた。また、調査委託会社により補足説明が行われた。</p> <p>① 地域の概要</p>

② 子ども・子育てをめぐる現況

③ アンケート調査結果からみた課題と今後の方向性

□質疑

委員 乳幼児健康診査について。受けていない人に対してはご案内をしているのか。

事務局 ハガキなどで行っていると思われる。確認して、またご報告する。

委員 保健師がよくやっていると思う。まめに電話でチェックをしているようだ。網羅できているかは分からないが。

委員 健診に来ない人に対して電話などすると、虐待が行われているかどうか分かることがある。

委員長 虐待については、なかなか踏み込めない。近所でも聞いている。虐待の他にも、県下の小学1年生から6年生では学校の授業が成り立たない状況を多く聞く。問題があれば地域が未然に防ぐために動く必要がある。アンケート調査については、調査方法について工夫してほしい。

委員 平成18年度に小学校の統合があつて放課後児童クラブの数が減ったという説明だったが、小学校の児童数と学級数の推移のグラフを見ると学級数がかえって18年度に急激に増えているが、この理由は何か。学校が統合されたから学級数も減るのかと思つたが。

事務局 旧鶴瀬西小学校と旧上沢小学校が統合された。鶴瀬西小学校は元々クラスが少なかったため、上沢小は少しクラスが増えた。また、ふじみ野小学校の方も生徒数が増えクラスが増えたためかと思う。

委員 ふじみ野小学校の生徒数の増加について説明をしてほしい。

事務局 今、1学年6クラスずつある。5、6年生は5クラス。入ってくるのは6クラスで卒業していくのは5クラスなので、ふじみ野小学校の児童数は増えている。そういったことで校舎の増築も行う流れになっている。

委員 現在は児童数は変わっていないということだが、実際問題、ふじみ野以外は減少しているということはないか。

事務局 全体的なところを見ると、地区によってはまだ若干伸びているところもある。団塊のジュニアの家庭が増えているところはそれなりに児童数も伸びている。また、子どもの数全体は、落ち込む前の段階だ。団塊ジュニアの子どものピークが過ぎれば全体の子どもの数も減るのではないかとされている。それで、児童数全体で見ると、落ち込んでおらずほぼ横ばいであり、地域差もでている。

委員 つるせ台小が新しくなった。再開発によってつるせ台小学校の児童数が急激に伸びていくのか。

事務局 どういった世代の人が来るかによると思う。もともと公団住宅の建て替えは、今住んでいる方が一度出て、またその方が戻ってくるという戻り入居が前提だ。しかし、戻り入居の方が必ず戻ってくるということでもない。そこに新たな世代の人が入ってくるということもあるので、伸びてくることも考えられる。ただ、それほど若い世代が入ってくるかは分からない。また、高層化しながら立て替えるので、土地の半分くらいは基本的に残る。そこをまちづくり用地として処分をしていくので、処分された土地がどのように開発されるかにもよると思う。また、価格設定や今後の開発動向にもよる。

委員 乳幼児健康診査について。健診に来ない人の追跡をしてみてもどうか。また、「相談相手」について。子育ての不安などへの日常的なサポートが課題である。

委員 子育ての相談相手として、NPO団体に相談している人が13.7%もいる。

委員長 健診に来ない人については、アンケート調査では分からない。

委員 3歳児健診で受診率がアップしているが、健診の内容はどうなっているか。親にとって、たくさんの情報が必要である。情報提供してほしい。

委員 最近では、健診を受ける側の親の対応が変わってきている。専門家の意見を聞きたがるようだ。ニーズにあった専門家の配置をしてほしい。

委員 専門家の意見を聞きたがる人は多いと感じている。

委員 「子どもの居場所」について。ボール遊びなど、子どもが遊べる公園が近くにない。スポーツやレクリエーションなどができる場を作る予定はあるのか。今、子どもたちは道路で遊んでいる。

委員長 住宅地の道路などでボール遊びなどするとボールが飛んだりするのでクレームがつくこともある。子どもたちの遊び場の確保は必要である。また、運動場などの緑化を進めていくといった構想も必要である。子どもたちがのびのび遊べない。

事務局 意見として出された連携や情報提供などは、計画に盛り込んでいく。子育て支援センターについて、親が孤立していくのを防ぐためにもっと利用してもらえるよう、分析を行う。また、アンケート調査では把握できないことについては、子育て関係者へのヒアリングを行い、計画に反映していく。

委員長 何かあれば教育相談室を利用するように、委員の皆様からも啓蒙していただきたい。

## (2) 次世代育成支援行動計画の進捗状況について

事務局により、資料に基づき説明が行われた。

## 4 次回の開催日程について

事務局により、次回のスケジュールについて説明が行われた。

第3回 策定委員会 日時：10月6日（火）午後1時30分～

場所：市役所 全員協議会室

## 5 閉会

藤森副委員長により、閉会が宣言された。